

令和4年12月定例教育委員会会議録

令和4年11月25日 定例熊谷市教育委員会を熊谷市役所3階303会議室に招集する。

○ 出席者

野原 晃、大石 聡一、加藤 道子、松島 佳代子、齋藤 洪太

○ 出席事務局

教育次長	権田 宣行
教育総務課長	長谷川 和博
学校教育課長	爪川 由美子
社会教育課長	野村 和弘
教育総務課副課長	浅見 弘江
教育総務課事務員	浅見 柚妃

13時30分 12月定例教育委員会開会

教育長から、令和4年12月定例熊谷市教育委員会の開会の宣言があった。

教育長から、傍聴希望者がいないことの確認があった。

11月定例教育委員会の会議録については、出席委員全員の承認を得た。

教育長が、本日の会議録の署名人に松島委員を指名した。

日程第1（報告第12-1号）寄附申出について

教育総務課長から、10月11日から11月10日までに熊谷教育推進のためとして受け入れたふるさと納税4件、計5万8千円と、育英資金貸付金のためとして現金100万円の寄附申出を頂いたとの報告があった。

また、長井小学校の教育に資するためとして「かんたんテント」一式を、妻沼東中学校の教育振興のためとして充電式芝刈り機を、文化会館の文化振興のためとしてバレエ舞台用ジョーセット幕一式を、それぞれ寄附申出を頂いたとの報告があった。

日程第1（報告第12-2号）12月教育委員会行事予定について

教育総務課長から、1月定例教育委員会は、令和5年1月8日の成人式終了後に、同会場のくまがやドーム体育館において開催するとの説明があった。

また、令和5年度の教育委員会開催日程(案)が提示され、定例教育委員会の開催日は、毎月第1火曜日を原則とし、市議会定例会の開催月である6月、9月、12月、3月は、前月最終金曜日に設定したこと等が説明された。

日程第 1（報告第 1 2－3 号）令和 4 年 1 2 月市議会定例会における教育委員会関連の議案等の概要について

教育総務課長から、1 2 月市議会定例会における教育委員会関連の議案等について説明があった。

補正予算の歳出では、エネルギー価格高騰に伴う光熱水費不足を補うための教育委員会所管各施設の維持管理経費や、令和 5 年度施工予定としていた吉岡小学校及び大原中学校の校舎長寿命化対策が国の補助金の追加交付決定を受けたことから、本年度に前倒しして実施するための経費について、それぞれ歳出補正するとの説明があった。

歳入では、歳出で説明した校舎長寿命化対策に係る国庫補助金と当該事業の財源として借り入れる市債や、ふるさと納税としていただいた寄附金について、それぞれ歳入補正するとの説明があった。

債務負担行為については、「外国語指導助手業務委託」は『総合戦略』英語教育推進事業で令和 5 年度に配置する英語指導専門員について、また、「ICT 支援員業務委託」は小中学校 GIGA スクール構想事業で令和 5 年度に配置する ICT 支援員について、共に業者選定から契約締結までの準備手続を本年度中に完了する必要があることから債務負担行為を設定するものであるとの説明があった。

大石委員から、大原中学校の長寿命化対策を施す校舎に関する質問があり、これに対して教育総務課長から、北校舎を対象としたものであるとの説明があった。

日程第 2（議案第 3 2 号）熊谷市立学校適正規模審議会の諮問について

学校教育課長から、熊谷市立学校適正規模審議会の諮問について説明があった。

通学区域について、現在小学校では「通学区域の規制緩和区域（選択区域）」を設定しており、中学校でも同様の設定が必要であるとの考えを示し、また、令和 7 年度からの男沼小学校、太田小学校、妻沼南小学校の統合により、当該指定校地域に在住する児童の通学距離の延長が課題となっているため、新たに妻沼小学校への通学を選択可能にすることが必要であるとの考えを示し、審議会に意見を求め答申を受けて策定を進めるとの説明があった。

大石委員から、富士見中学校の学区が広いことについて、今後対策はあるのかとの質問に、学校教育課長から、懸念事項として話題にはしていくが、現在統廃合を進めている学校の規制緩和が喫緊の課題であり、まずはそちらを優先したいとの説明があった。

（議案は、原案どおり可決）

日程第 2（議案第 3 3 号）行政手続き等の見直しに伴う関係規則の整備に関する規則について

日程第 2（議案第 3 4 号）熊谷市スポーツ・文化村条例施行規則の一部を改正する規則について

教育総務課長から、行政手続き等の見直しに伴う関係規則の整備に関する規則及び熊谷市スポーツ・文化村条例施行規則の一部を改正する規則について、一括して説明があった。

当該議案は、熊谷市総合政策部デジタル推進課が所管する「熊谷市公共施設予約システム」の改修に伴い、教育委員会所管の 8 施設での利用規則で定めた申請様式にレイアウト変更が生じるため、関係規則について整備するものであるとの説明があった。

（議案は、原案どおり可決）

（その他）後援等承認決定した事業について

教育総務課長から、10月16日から11月15日までに、後援等承認決定した事業が11件あったとの報告があった。

（その他）教育振興計画（案）について

学校教育課長から、令和5年度から令和9年度の教育振興計画（案）について、説明があった。

新熊谷プロジェクトの「知」については、「総合的な学習の時間」のカリキュラム改善・ICT機器の効果的活用等を、「徳」については、道徳の「見える化」推進・「スマホ使い方宣言」などの実践・徹底等を、「体」については、体育授業の充実・HQCシートによる生活習慣改善等を予定しているとの説明があった。

松島委員から、中学校でのICT活用推進と、ICT活用に係る予算について質問があり、学校教育課長から、小・中学校全体でICTを多様に活用していることや、予算は財政課に相談済みであり、今後の入替に係るスケジュールを計画していくとの説明があった。

また大石委員から、感染症拡大の影響で子供たちの体力が減少しているかとの質問に対し、学校教育課長から、コロナ禍で制限はあったが、学校が創意工夫した結果、本市の児童・生徒は学力と同様に体力は限りなく日本一とのデータが出ているとの説明があった。

(その他) ハートフルセミナーの開催について

社会教育課長から、新型コロナウイルス感染症予防の観点から規模を縮小し、来年1月に2日間の日程で開催予定であるとの報告があった。

日程第2 (議案第35号) 非公開

(議案は、原案どおり可決)

ほかに報告はなく、教育長の宣言により、令和4年12月定例熊谷市教育委員会を閉会した。

(14時25分 閉会)

署名

教育長 野原 晃

委員 松島 佳代子